



2023年9月25日

各 位

会 社 名 東洋製罐グループホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 大塚 一男
(コード番号 5901 東証プライム市場)
問 合 せ 先 執行役員総務部長 浅田 真一郎
(TEL 03-4514-2001)

当社初のグリーンボンド発行に関するお知らせ

当社は、グリーンファイナンス・フレームワークを策定し、当社初のグリーンボンド（以下、「本社債」）を発行いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 本社債発行の目的および背景

当社グループは、「常に新しい価値を創造し、持続可能な社会の実現を希求して、人類の幸福に貢献します。」という経営理念のもと、2050年を見据えた「長期ビジョン2050『未来をつつむ』」を策定し、その実現に向けて、2030年に達成を目指す定量的・定性的な経営目標である「中長期経営目標2030」を設定いたしました。また、「中長期経営目標2030」を達成するためのアクションプランとして、2021年度から5ヶ年の「中期経営計画2025」を策定いたしました。これら中長期の戦略・ありたい姿に照らし合わせ、2018年に特定したマテリアリティ（重要課題）の見直しを実施し、2022年には新たな6つのマテリアリティを設定いたしました。当社は、マテリアリティのうち、「環境配慮型製品・サービスの開発と提供」、「環境への貢献」に向けた取り組みを推進するための資金調達の枠組みとして、グリーンファイナンス・フレームワークを策定し、本社債の発行を決定いたしました。

2. 本社債の概要

名 称	東洋製罐グループホールディングス株式会社第1回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド)
社 債 の 総 額	100億円 (予定)
償 還 期 限	2028年10月 (予定)
発 行 時 期	2023年10月 (予定)

資 金 使 途	グリーンファイナンス・フレームワークにおける以下の適格プロジェクトに係る新規支出又はリファイナンスに充当予定 ①EV・ハイブリッド車向け車載用二次電池材の生産ラインの増強 ② 缶底耐圧強度向上技術（CBR） ^{※1} を用いたアルミ飲料缶の製造設備に関する投資 ③ 環境性能の高い建物の取得、開発、建設等 ④ 太陽光パネルの設置、又は PPA による再生可能エネルギー電力の調達
主 幹 事 証 券 会 社	大和証券株式会社、SMB C 日興証券株式会社、みずほ証券株式会社、野村証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント ^{※2}	大和証券株式会社

※1 缶底耐圧強度向上技術（CBR：Compression Bottom Reform）とは、飲料缶の底部をリフォームして強化し、軽量化を可能とする技術をいいます。

※2 ストラクチャリング・エージェントとは、グリーンファイナンス・フレームワークの策定やセカンドオピニオン等の外部評価の取得に関する助言等を通して、グリーンボンドの発行支援を行う者をいいます。

3. グリーンファイナンス・フレームワークの策定および外部評価の取得

当社は本社債の発行にあたり、国際資本市場協会（ICMA）の定める「グリーンボンド原則 2021」をはじめとする各原則に則したグリーンファイナンス・フレームワークを策定しました。また、本フレームワークについて、株式会社格付投資情報センター（以下、「R&I」）より、上述の各原則との適合性に対する外部評価（セカンドオピニオン）を取得しています。

- グリーンファイナンス・フレームワーク

リンク先 URL：https://ssl4.eir-parts.net/doc/5901/ir_material1/213986/00.pdf

- R&I セカンドオピニオン

リンク先 URL：https://ssl4.eir-parts.net/doc/5901/ir_material1/213987/00.pdf

以 上